



2026年5月27日

各 位

会 社 名 シンプレクス・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 金子 英樹
(コード番号：4373 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 C F O 江野澤 慶亮
(T e l . 0 3 - 3 5 3 9 - 7 3 7 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2026年5月27日開催の取締役会において、以下のとおり、2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

なお、当社は会社法第459条に基づき、取締役会の決議により剰余金の配当等を行う旨を定款に定めています。

記

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2025年10月30日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基 準 日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	18円00銭	同左	50円00銭
配当金総額	4,026百万円	—	2,847百万円
効力発生日	2026年6月1日	—	2025年6月2日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

※ 当社は、2025年10月30日開催の取締役会決議により、2025年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行ったため、2026年3月期以降の期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年3月期の期末配当金は72円となります。

2. 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、高いキャッシュフロー創出力を礎として、財務健全性を維持した上で、事業基盤の強化に繋がる成長投資を優先的に実行することが、持続的な利益成長と企業価値の向上に資すると考えております。

加えて、当社は、資本効率を意識した経営に取り組んでおり、重要な経営指標の1つとしてROE目標を掲げ、資本効率の向上に資する株主還元についても、キャピタルアロケーションにおける重要施策として認識しております。

こうした認識に基づき、当社は、業績動向やROE水準、成長投資の機会等を総合的に勘案した上で、配当を基本として株主還元の充実に努めております。

配当については、利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を基本方針とし、連結配当性向40%を目安として配当を行う方針です。

上記の配当方針に基づき、2026年3月期の期末配当につきましても、1株当たり配当金を18円とすることにいたしました。

以上